

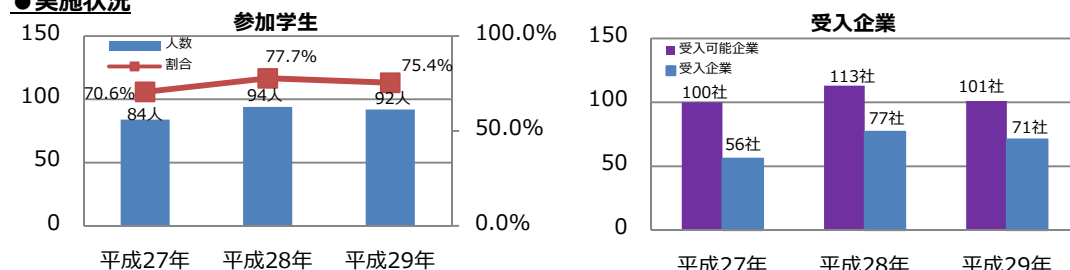
## ■職業実習（インターンシップ）

3年次の夏に実施されるインターンシップ科目で、本学1期生が進級した平成9年度から開講しています。実社会のものづくりの現場に触れ、大学で学ぶ工学知識との関連を知るとともに、今後の学習の方向性を認識することを目的としています。さらに、実社会において仕事をしていく上で、人間力（挑戦力・創造力・コミュニケーション力）も重要であることを学びます。実施にあたって新潟工科大学産学交流会にご協力頂いています。

## ●スケジュール

平成28年度（2年次）		平成29年度（3年次）	
平成28年 10/5	「3年生の職業実習報告会」の聴講。 	4/6 全体ガイダンス（その3） ・全体スケジュールの確認。 ・履修登録、希望実習先調査。	
		6月 マッチング結果発表	
		6/15 全体ガイダンス（その4） ・実習先研究。	
		6月～ 7月 ・企業研究シート、取り組みシート作成。	
平成29年 1/11	全体ガイダンス（その1） 企業説明会「対話型企業技術・要素会」参加。  	7/20 全体ガイダンス（その5） 学系別ガイダンス ・職業実習報告書の説明。 ・訪問時の注意事項。 ・緊急事態の場合の連絡先等について。	
		職業実習 ※企業によって実習期間が異なる場合があります。   	
1/18	全体ガイダンス（その2） ・企業の実習担当者からの講演。 （一正蒲鉾 小島基義様 加藤奈津子様） 企業の方から直接伺う説明会を実施致しました。学生には、職業実習で得られることや、その後何が変わるかなどを聞く良い機会となりました。  ・職業実習（インターンシップ）とは（目的・心構え等）。 ・年間スケジュール。 ・「企業研究」に関する説明。 ・仮履修登録。 講演を聞いたうえで、履修を希望する学生は仮履修登録を行いました。正式の登録は3年次の4月になります。	8/21 ～ 9/1	
		10/4 職業実習報告会。 → 後輩に向けて。	

## ●実施状況



## ●職業実習報告書

実習前に「実習企業の志望理由」、「職業実習で学びたい内容」を記入し、教員の面談と指導が行われます。実習時には、それらを企業に持参し、実習内容について、企業担当者と確認します。また、日報を書き、企業担当者に確認して頂きます。

実習後に、「「学びたいこと」に対するふりかえり」、「実習を通じて得られたこと」、「今後の学生生活に向けて」をまとめることで、職業実習報告書が完成します。

以下は、過去の実習学生の内容（例）です。

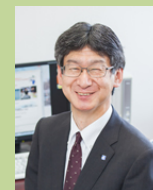
実習前に記入	実習後に記入
<b>【実習先企業の志望理由】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇メーカーで日本を代表する企業であるから。</li> <li>・〇〇製造業の生産工程や生産効率について知りたいから。</li> <li>・〇〇を製造する機械の仕組み（機構等）を知りたいから。</li> </ul>	<b>【「学びたいこと」に対するふりかえり】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場の雰囲気（工場）は、仕事と休憩での切り替えがはっきりしていた。企画提案する上で、理由と裏付けをしっかりと説得力を持たせることが大切だと分かった。</li> <li>・仕事をする上で、自発的に意見を言う力が足りないことが分かった。</li> </ul>
<b>【実習を通して学びたいこと】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような雰囲気の中で働いているかを学びたい。</li> <li>・企画提案をする上で、大切なことを学びたい。</li> <li>・仕事をする上で、自分に足りないことを知りたい。</li> <li>・〇〇技術とはどういうものか知りたい。</li> </ul>	<b>【実習を通じて得られたこと】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの失敗が周囲の人に迷惑を掛けてしまうので、責任感ある行動が重要である。</li> <li>・指示される前に行動することが大切である。</li> </ul>
	<b>【今後の学生生活に向けて】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理由と裏付けを徹底的に調査することが、卒業研究においても重要なので、今後に活かしていきたい。</li> <li>・意見交換などで完璧な答えを考え込むだけでなく、「自分はこうしたい」という気持ちをもって発言し、自発性を向上したい。</li> </ul>

## ●海外インターンシップ

新潟県上越市のウエカツ工業株式会社様（3年目、マレーシア）、新潟県三条市の株式会社田中衡機工業所様（1年目ベトナム）のご協力で、来年2～3月に2週間の海外インターンシップを実施します。（写真は過去のもので。）



## ■そして一言（村上 肇 教授／教育改革加速チーム（教学PDCA））



他大学の教育を評価していて、気になることがあります。各校とも、よい取り組みを行っているのですが、コマギリであるということ。なんとなく、もったいない気がします。そこでたとえば取り組みを、あちらこちらに連結してみましようか。今回紹介した「職業実習」では、3年生のゴール（発表）イコール2年生のスタート（参観）とループさせていますし、報告書に事前記入した「学びたいこと」を事後記入の「得られたこと」につなげます。最後の「今後の学生生活に向けて」は、他のキャリア科目でも考えさせています。このような仕組みで、効果的・効率的な学習と教育が達成できるものと思っています。